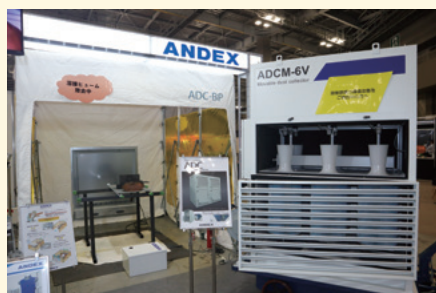


2022 国際ウエルディングショー、開催

時流に合わせた 溶接・接合に関する 製品・技術が集結

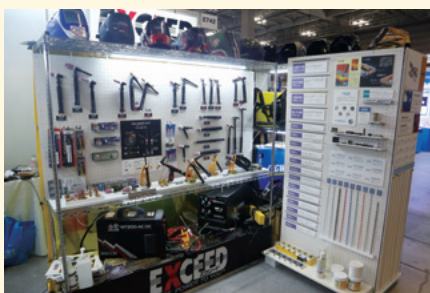
溶接、接合に関する総合展「2022国際ウエルディングショー」が7月13～16日の4日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。コロナ禍の影響で約4年ぶりの開催となった今回は、車両製造の現場で採用される新たな技術や自動車補修及び安全衛生に関する製品・サービス、特化則改正を受けて関心が高まっている溶接ヒューム対策に有効な製品などが展示されました。

また、「カーボンニュートラルの実現と持続可能な発展を支える溶接・接合技術の革新」をテーマとした展示コーナーではレーザー溶接を用いたボデー、アルミ合金を採用したパネルなどが紹介されました。4日間の来場者数は合計で100,413人に上っています。



アンデックス

溶接ヒューム対策として、ブースを組み合わせた大風量集塵機と移動式集塵装置を紹介



エクシード

作業性と耐久性に優れたマグナアロイアンドリサーチ社の自補修用溶接棒をPR



スター電器製造

薄板溶接に適した半自動溶接機「アイミーゴ200」や自動遮光溶接面などを出品

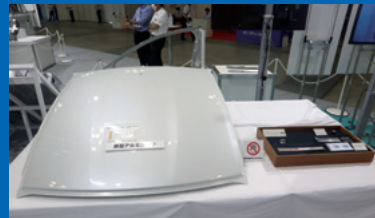
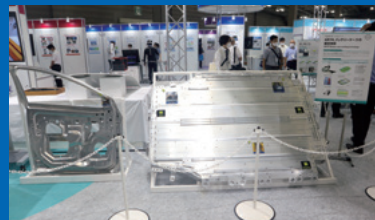


スリーエムジャパン

今冬発売予定の自動遮光溶接面（写真）や呼吸用保護具、フィットテスト用キットなどの安全衛生用品を展示

IIWコラボ展示コーナー

7月17～22日に開かれた「IIW（国際溶接学会）2022年次大会・国際会議」との共同展示コーナーでは、車体の軽量化や剛性アップなどに寄与する技術が紹介された。



JAIA 輸入電動車普及促進イベントin大阪、開催

日本自動車輸入組合（クリスチャン・ヴィードマン理事長、JAIA）は6月30日、グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（大阪府大阪市）で、「JAIA 輸入電動車普及促進イベントin大阪」を開催しました。

JAIAはカーボン・ニュートラル時代に向けて、2021年4月に輸入電動車普及促進プロジェクトを開始しています。今回のイベントは、同プロジェクトの一環として輸入四輪車インポーター9社、輸入二輪車インポーター4社と充電関連事業者8社が参加し、開催されたものです。JAIAとしては、初の関西エリアでのイベントとなりました。



Hyundai Mobility Japan



100%充電走行距離何と820kmという、展示車両の中ではNo.1の1充電走行距離を誇るNEXO

ビー・エム・ダブルユー



惜しくもNo.1の座は譲ったがそれでもトップ2の1充電走行距離650kmが画期的なiX x Drive50

テスラモーターズジャパン



展示車両中、トップ3の1充電走行距離（最大）595km（WLTCモード）を持つTesla Model Y

ビーワイディー・ジャパン



乗車定員31人ながら一充電走行距離200km（乗車率65%でエアコン不使用の場合）を誇るJ6

ビー・エム・ダブルユー



展示の二輪車の中ではNo.1の1充電走行距離130km（WMTC準拠）を持つCE04

KTM Japan



6種類のライドモードと車高調整機能を備えた電動モトクロスー GASGAS MC-E5

資格体系の変更は2027年から

自動車整備士制度が改正される

自動車整備士制度を改正する「自動車整備士技能検定規則等の一部を改正する省令」が、5月25日に公布されました。

この改正によって整備士の資格体系が変更となり、一級大型自動車と一級小型自動車の区分がなくなり「一級自動車整備士（総合）」が設定されます。同様に二級ガソリン自動車、二級ジーゼル自動車、二級自動車シャシの区分がなくなり「二級自動車整備士（総合）」が、三級自動車シャシ、三級自動車ガソリン・エンジン、三級自動車ジーゼル・エンジンの区分がなくなり「三級自動車整備士（総合）」がそれぞれ設定されています。

また自動車車体整備士と自動車電気装置整備士は電子制御装置に関する知識を有する資格として、それぞれ「自動車車体・電子制御装置整備士」、「自動車電気・電子制御装置整備士」に変更されます。

そのほか一級の自動車整備士資格の学科

試験における口述試験の廃止や、大学等で電気・電子関係の学科を卒業した者に対して、受験に必要な実務経験年数を短縮することなどが定められました。

自動車整備士資格体系の改正

現行

	自動車整備士の種類
一級	一級大型自動車整備士（※）
	一級小型自動車整備士（※）
	一級二輪自動車整備士
二級	二級ガソリン自動車整備士
	二級ジーゼル自動車整備士
	二級自動車シャシ整備士
	二級二輪自動車整備士
三級	三級自動車シャシ整備士
	三級自動車ガソリン・エンジン整備士
	三級自動車ジーゼル・エンジン整備士
	三級二輪自動車整備士
特殊	自動車タイヤ整備士
	自動車電気装置整備士
	自動車車体整備士



改正後

	自動車整備士の種類
一級	一級自動車整備士（総合）（※）
	一級自動車整備士（二輪）
二級	二級自動車整備士（総合）（※）
	二級自動車整備士（二輪）
三級	三級自動車整備士（総合）
	三級自動車整備士（二輪）
特殊	自動車タイヤ整備士
	自動車電気・電子制御装置整備士（※）
	自動車車体・電子制御装置整備士（※）

（※電子制御の内容を含む資格）

NGP、廃棄物対策豊島住民会議に車両を1台寄贈

豊島事件を後世に伝える環境教育に貢献

(株)NGPは7月1日、廃車買い取りサービス「廃車王」を通じて、香川県豊島の廃棄物対策豊島住民会議に車両1台を寄贈しました。

廃棄物対策豊島住民会議では、産業廃棄物の不法投棄事件である「豊島事件」を風化させない、二度と繰り返させないことを目的として、不法投棄現場の見学会を実施しています。しかし近年、見学者を運ぶた

めの車両の老朽化が進んでいました。

廃棄物対策豊島住民会議から相談を受けたNGP廃車王は、豊島事件を後世に伝える環境教育に貢献するために、車両を寄贈することを決定しました。寄贈した車両は、(株)NGPが廃車王で買い取った車両の中から今後も長く利用可能なものを選定しました。

7月1日に開催された寄贈式には、廃棄

物対策豊島住民会議から木村益雄議長及び安岐正三事務局長、(株)NGPから藤原庸正取締役、NGP協同組合の廃車王委員会から岸本恭秀委員長及び同委員会メンバーが出席し、木村議長からNGPに対して感謝状が贈られました。

NGPは今後も「豊島事件」を二度と繰り返さないため、各種活動に取り組んでまいります。



廃棄物対策豊島住民会議からNGPへ感謝状が贈られた。写真左から(株)NGP 藤原庸正取締役、廃棄物対策豊島住民会議・木村益雄議長、同・安岐正三事務局長



廃棄物対策豊島住民会議・木村益雄議長（写真中央）、同・安岐正三事務局長（右から二人目）、NGP協同組合廃車王委員会・岸本恭秀委員長（左端）と同委員会メンバー



寄贈した車両は、今後不法投棄現場の見学用車両として活用される

カーボンニュートラル社会の実現に向けた研究を開始

トヨタ自動車など6社が「次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合」を設立

スズキ、SUBARU、ダイハツ工業、トヨタ自動車、豊田通商、ENEOSの6社は7月1日、燃料を「つくる」プロセスでの効率化を研究することを目的として、「次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合」を設立しました。

同組合は、カーボンニュートラル社会実現を目指して、バイオマスの利用、生産時の水素・酸素・CO₂を最適に循環させて効率的に自動車用バイオエタノール燃料を製造する技術研究などを進める計画です。

【具体的な研究領域】

①エタノールの効率的な生産システムの研究

食料と競合しない第2世代バイオエタノール燃料の製造技術の向上を目指し、生産設備を実際に設計・設置・運転し、生産面での課題及びその解決方法を研究するとともに、生産システムの効率改善を検討。

②副生酸素とCO₂の回収・活用の研究

水素製造時に副生成物として発生する高濃度酸素及びバイオエタノール燃料製造時に発生するCO₂の活用方法について研究。

③燃料活用を含めたシステム全体の効率的な運用方法の研究

①で得られたバイオエタノール燃料を自動車等に使用した際の課題を明らかにし、解決方法について研究。また、原料栽培の生産量から製造される燃料量までを予測可能とするモデル式を検討する。

④効率的な原料作物栽培方法の研究

バイオエタノール燃料の原料確保のために、収穫量の最大化と作物の成分の最適化を目指し、最適な栽培方法を提案するシステムを開発する。土壌の成分調査などを通

じて、収穫量の予測精度の向上を目指す。

【次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合の概要】

設立日：2022年7月1日

理事長：中田浩一氏（トヨタ自動車 CN開発部 部長）

組合員：ENEOS、スズキ、SUBARU、ダイハツ、トヨタ、豊田通商

本部所在地：福島県大熊町インキュベーションセンター内（福島県双葉郡）

事業内容：カーボンニュートラル技術の効率向上研究

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和4年6月：

2,308t



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和4年6月：

0.6t

※自動車リサイクル部品産業共同研究組合が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

(株)多田自動車商会、健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)に認定される スタッフの健康維持・向上を目指して 各種取り組みを展開

NGP組合員の(株)多田自動車商会(本社=兵庫県神戸市、平田武士社長)は、健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)に認定されました。

健康経営優良法人制度とは、特に優良な健康経営*を実践している法人を顕彰することを目的として経済産業省が創設したもので、定められた評価基準に基づいて日本健康会議が認定する制度です。(株)多田自動車商会は、2021年に続き2年連続で認定法人となりました。

同社では、スタッフの誕生日に電動歯ブラシや体重計など健康の維持・向上に

役立つグッズをプレゼントするなど、健康経営に向けた各種取り組みを展開しています。多田みゆき常務は「当社は65歳が定年退職年齢ですが、その歳まで元気に働いてもらうことはもちろん、退職後も健康に過ごしてほしいと考えて健康経営に取り組んでいます。今後も、スタッフの健康促進に向けた取り組みを継続していきたい」と、健康経営に込めた思いを語っています。

※健康経営とは、従業員等の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。



「健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)」の認定証

合計当選金額・当選者数過去最高!

NGP「大感謝キャンペーン」、当選者決定!!

NGP協同組合は7月22日、4月1日～6月30日の3ヵ月間にわたって実施した「大感謝キャンペーン」の当選者を決定する抽選会を開催しました。

同キャンペーンは、NGPリサイクル部に貼付されるガランティシールを集めてご応募いただいた方に対して、抽選で宝くじなどの賞品をプレゼントする企画です。9回目となる今回は、30万円分の賞品が5名に当たる「大口コース」を新たに設定しており、合計の当選者数及び当選金額はいずれも過去最高となりました。

皆様からお送りいただいた応募の中か

ら、小林信夫理事長、佐藤幸雄会長、青木金也副理事長、藤原庸正副理事長、杉之間大副理事長、中村昌徳相談役が厳正な抽選を行い、当選者が決定いたしました。なお、抽選の結果につきましては、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

応募総数は28,039枚に上りました。たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。NGPは、年末に向けて新たなキャンペーンを計画しています。今後も皆様によるこんでいただけるように、各種企画を展開して参ります。



厳正な抽選により当選者を決定しました。左から、藤原庸正副理事長、中村昌徳相談役、小林信夫理事長、佐藤幸雄会長、青木金也副理事長、杉之間大副理事長



応募総数は28,039枚。たくさんのご応募誠にありがとうございました

組合員情報変更

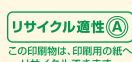
支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
九州	WARC西日本オートリサイクル株式会社	会社代表	代表取締役 植田英男	2022年6月23日
北関東	リバー株式会社 E L V川島	会社代表	代表取締役 松岡直人	2022年7月1日
南関東	リバー株式会社 E L V柏	会社代表	代表取締役 松岡直人	2022年7月1日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>



FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー 100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出される CO₂ 全量をカーボンオフセット (相殺) した「CO₂ ゼロ印刷」で印刷しています。